

2015年6月22日

## インドへの調査団の派遣について

(株)前川製作所

### 1. 背景

- 5月15日にグローバル・フードバリューチェーン（GFVC）戦略推進官民協議会第1回インド部会が開催され、70名を超える参加者が集まった。この中で、南インドに位置するアンドラ プラデシュ州（以下 AP 州）より、インド工業連盟（CII）のチットゥーリ会長が講演された。
- インドでは現在、インド政府によるメガフードパーク（以下 MFP）構想が現実化し、同パークが各地に設置され、食品関連企業が集積しつつある。インド AP 州は、多くの農水産物が生産される地域であり、日本の食品企業の誘致を積極的に行っているが、その AP 州には、先進的な MFP であるスリニ MFP が建設されている。
- またチットゥーリ氏によれば、AP 州では、日本とインドの企業のビジネスマッチングを開催する計画があるとのこと。

### 2. AP 州の特色（チットゥーリ氏の講演等に基づく）

- 電力のインフラがインド国内で最も安定している。
- 主要な農産物は、コメ、マンゴー、パパイヤ、レモン、トマト、トウガラシ、ウコンなどがインドで1位である。
- トウモロコシ、ピーナッツ、ナス、カシューナッツは2位である。
- 鶏卵（1位）、食肉（2位）、水産物（2位）、乳業（3位）の生産量を誇るエリアである。
- インド政府のインセンティブと AP 州独自のインセンティブが提供できる。
- AP 州の農産、水産資源と労働力を活かして、日本の先端的な食品加工技術を連携させて、諸外国への輸出産業に育成したい意向があり、日本企業とのビジネスマッチングを開催したいとの意向有り。

### 3. 現地調査団の派遣とビジネスマッチングの開催

- 現地調査団の派遣について  
AP 州のインフラ、農産物や水産物の生産加工状況、研究機関や州政府機関などの視察と現地調査を行う調査団を派遣予定。
- ビジネスマッチングの開催  
調査団に参加する日本企業とインド企業とのビジネスマッチングの場を検討中。
- 上記調査団・ビジネスマッチングにご興味のある企業は、前川製作所 篠崎 に御連絡をお願いします。本件についての詳細は、追って情報共有させていただきます。

以上